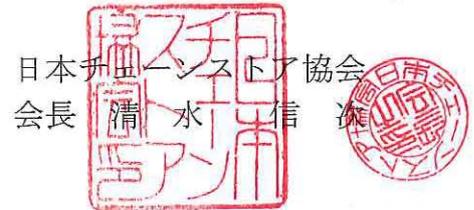


JCA-26-発第 013 号
平成 27 年 1 月 13 日

関西電力株式会社
取締役社長
八 木 誠 様



電力料金の値上げに関する要望

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会に対しまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、電力料金のあり方につきまして、これまで小売業の営業実態に即した料金体系の構築等にご努力されてこられていることは評価しております。

また、東日本大震災の発生以降、電力の安定供給に向けてご努力を続けていただいていることにも敬意を表します。

しかしながら、今回の原子力発電所の再稼働が遅れていることから火力燃料費の負担が増加していることを理由とした、平均 13.93%の値上げのお願いにつきましては、それが実施された場合、当協会の会員各社にとって深刻なコスト増となります。

当協会の会員各社は、昨年 4 月の消費税の増税以降、厳しい売上げ状況が続いている中で、円安等を原因とした原材料価格の上昇を懸命の経営努力により吸収し、お客様に買っていただける商品の提供をすべく日夜苦勞しています。そのような中、電力料金の再値上げが行われた場合、商品価格への転嫁は困難であり、小売業各社の経営に深刻な影響を及ぼすことが懸念されるため、御社の値上げのご意向については、見直しを求めざるを得ません。

当協会としては、上記のような業界の事情をご理解いただき、貴社にとってのお客様であるチェーンストア各社の声を真摯に受け止めていただくことを、切に要望いたします。

敬 具